

参政党あやせ市民に伝える会

市政報告・News

発行責任者：成田龍二

発行年月日：令和6年2月1日

明らかにした**衝撃の事実**

1. 市は両論公平に伝えていないことを確認
2. 市は市民にどう判断して欲しいか明確にして情報発信をしていた
3. 市民は情報に偏りがある事を理解し自分軸で活用する必要がある

市民には「インテリジェンス」が必要です

行政は、私たちに両論公平に伝えてくれないのです。だとしたら？

「メリット・デメリット」を「国や行政の政治決定と異なる多角的情報」を、私たちはどのようにして知ることができるのでしょうか？

※ インテリジェンス： 情報に存在する取得環境の「偏り」、発信者の戦略による「偏り」を意識して、「偏り」を取り除き自分にとって活用できる情報にすること

発信者の戦略に基づく「偏り」を取り除きましょう

TVのCMの「偏り」を理解して、自分にとって何が良いのかを注意深く考えて活用しようとすることは自然です。しかし、驚くべきことに、行政や公的な情報発信であっても、「偏り」があるのは同じなのです。知ってください！

※ 「偏り」がある： 例えば、綾瀬市にとって新型コロナワクチン接種は法定受託業務であり、自治業務ではないため、「接種率を高めれば感染を抑制できるはず」という「仮説」に基づいた国の政治決定に整合する内容に偏った情報発信になる（今回使われたmRNA型ワクチンは、遺伝子治療薬に類するもので、従来のワクチンとは異なります。しかし安全側の情報に偏った情報発信が厚生労働省やTV・新聞により行われました。）

行政

行政は、事業の目的を正確に市民の皆様理解いただくため、情報発信をする。

例えば、国のワクチン接種事業であれば、その目的を達成する発信をする。



綾瀬市議会9月
定例会市長答弁

市長

市長は、自身の政治的判断により市民に対して、行政では困難な両論公平な情報発信が可能だが、実行する市長は少ない。泉大津市の南出市長のメッセージ動画は数少ない実行例。



泉大津市の市長
メッセージ

メディア

メディアは、スポンサーや歴史的な影響によって、報道しない情報がある。日本は敗戦時の経緯から、現在はアメリカ（特に民主党）の強い影響下にある。



大手メディアが報道
しないアメリカの今



会派の【理念】 参政党あやせ市民に伝える会

- ・ 50年先の地域社会の姿を想像し、市民とともに学び、「私たちの子供たちの手の内に何を残したいのか」を自分の頭で考えることを諦めないという理念を共有する。
- ・ 現時点で想像できる具体的な未来像を市民と共有し、ともに考えるために活動する。

気づいたこと

パンデミック 条約は綾瀬市の市民と関係があります。



“**命**の危機感を使って、**自由**を手放す”

“**自由**の危機感を使って、**命**を手放す”

これらはどちらに偏っても良い社会になりません。バランスが大事です。また、その判断は自分で決められるものであるべきではないかと感じます。

「**選挙で選ぶことができない誰かに自由を手放す判断を白紙委任して良いのでしょうか？**」

情報を知り、地域の人と話をしましょう。



綾瀬市議会12月
一般質問中継

※ 情報開示を求める意見書が、北海道釧路市/愛知県津島市/北海道清水町などの議会で可決しています。

学んだこと

マスメディアの報道の「偏り」

組織の判断で報道が「偏る」ことがある事実を知ってください。**私たち綾瀬市民は、何が伝えられないのかを知る努力が必要です。**



報道できない大手
マスメディアの間



米国には自由な議論がある！

日本の報道では見えてこない活発な議論が米国の議会には存在します。それはアメリカ**政治の分断構造**を知ると真実だとわかります。



アメリカ政治の
分断構造



日本は米国の様な議論がない！

パンデミック 条約は国会議員にも知られずに粛々と進んでいます。偉い人が考えている筈という態度で**綾瀬市の未来**は輝きますか？



第2回超党派
WCH議連



参政党あやせ市民に伝える会

問い合わせ先：

綾瀬市議会議員 成田龍二

ayaseshi.narita@gmail.com



SMS/TEL

070-9123-3410



おねがいします

未来のために**市政報告が届いているのかを確認**しています。
アンケートに答えてください！

